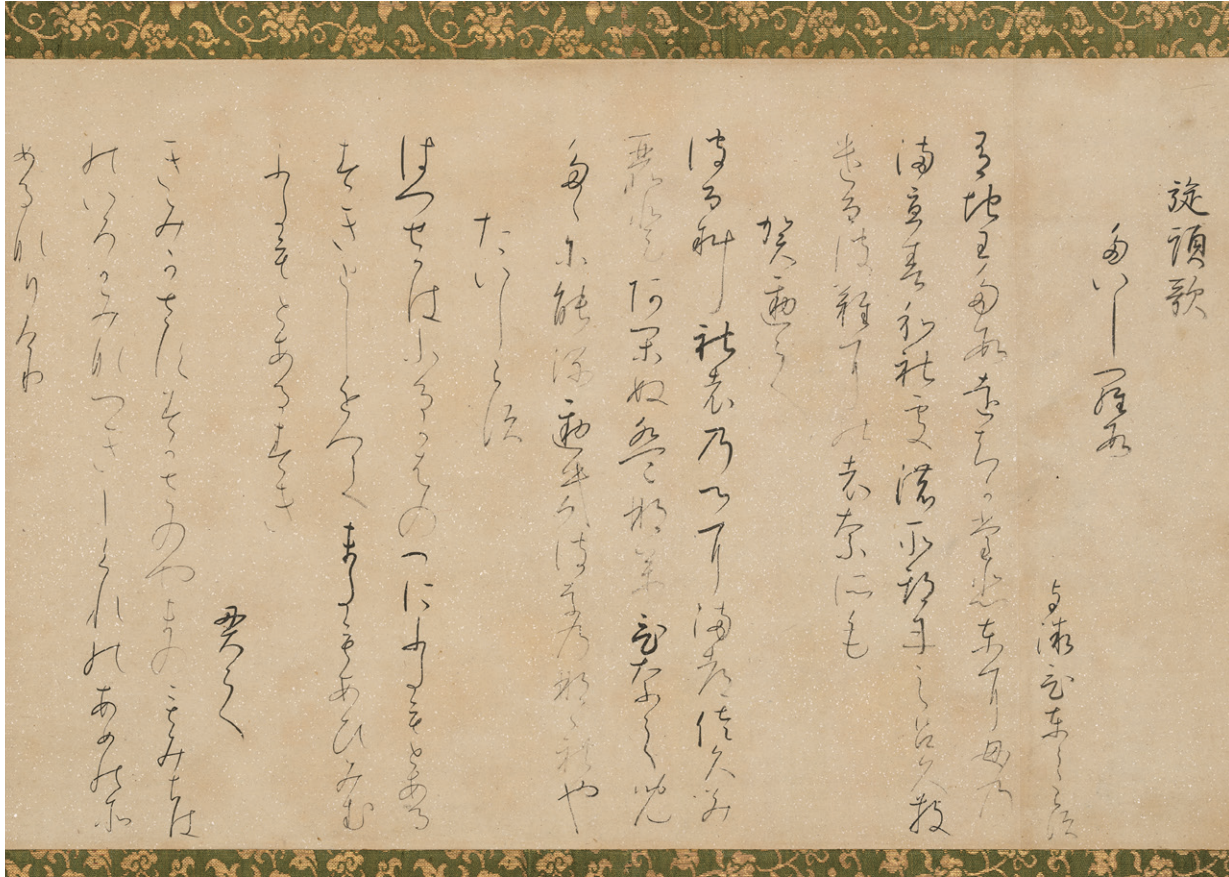


Museum Collection Exhibition

Shared Beauty: Detached Segments of Ancient Japanese Calligraphy

企画展 こひつぎれ 古筆切

わかちあう 名筆の美



重要文化財 高野切(古今和歌集 卷第十九断簡) 伝 紀貫之筆 日本・平安時代 11世紀 根津美術館蔵

古筆は、本来古の人の筆跡という意味ですが、狭義には平安から鎌倉時代の優れた筆跡をさします。名筆を尊重するなかで、平安時代には、貴族らは書に秀でた人に『古今和歌集』をはじめとする勅撰和歌集や私家集などの書写を依頼しました。多くは贈答品や調度品として用いるためのものでした。こうした当一流の能書家によって写された歌書などが、室町時代以降の茶の湯の流行や鑑賞のために一紙や一頁、場合によっては数行単位で切断分割されるようになります。それが古筆を切断した断簡、すなわち古筆切です。

今回の展示では、新たに当館の所蔵に加わった重要文化財「高野切」をお披露目いたします。端正な字形や優美な線質、文字と文字をつなげて書いた連綿れんめんの流麗さなどはもとより、それらの調和性にも優れていることから、仮名で書かれた古筆の最高峰に位置すると言われます。この「高野切」を筆頭に、平安から鎌倉時代にかけて書かれた、館蔵の古筆切を中心にご覧いただけます。これらは当時を代表する書き手の書であり、柔らかな線や直線的な線、連綿の様や字配りのバランスなど、それぞれに個性的な魅力を放っています。先人を惹きつけてきた、名筆の美をお楽しみください。

2024年 12月21日(土) ~ 2025年 2月9日(日)

日時指定予約制

根津美術館 NEZU MUSEUM <https://www.nezu-muse.or.jp>

根津美術館
NEZUMUSEUM





<表紙作品>

当館に新たに収蔵された、『古今和歌集』^{こきん わかしゅう} 卷第十九の旋頭歌^{せどうか} 4 首が書かれた 1 幅。
高野切^{こうや ぎれ}は現存する『古今和歌集』の最古の書写本としても貴重である。この断簡
はいわゆる第三種の書風に分類され、軽快でのびやかな筆線が雲母砂子を全面に
ま
撒いた料紙に映える。収蔵後初公開。

重要文化財

高野切 (古今和歌集 卷第十九断簡)

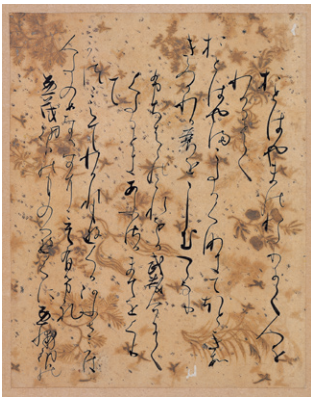
伝 紀貫之筆

1 幅 彩箋墨書

日本・平安時代 11 世紀

<旋頭歌とは？>

五七七・五七七の 6 句からなる、和歌の歌体の一つ。『古事記』や『日本書紀』、『万
葉集』にも採録される。『古今和歌集』には巻第十九に 4 首のみが入集しており、新
たに当館の所蔵となったこの「高野切」は、その題以下 4 首すべてを含む。



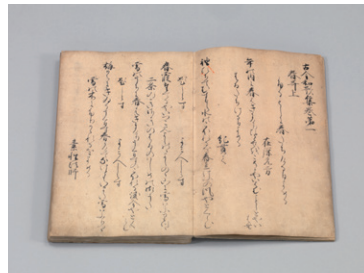
石山切 (貫之集下断簡)

藤原定信筆

1 幅 彩箋墨書

日本・平安時代 12 世紀

小林中氏寄贈



重要文化財

古今和歌集

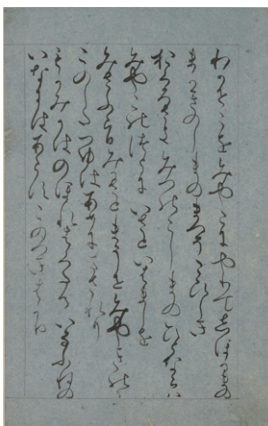
藤原為氏筆

1 帖 紙本墨書

日本・鎌倉時代 13 世紀

「本願寺本三十六人家集」のうち、「貫之集下」は「伊勢集」
とともに昭和 4 年(1929)に分割された。金銀の砂子を散らし、
銀泥で下絵を施した彩箋に、藤原定信(1088～1154)により、
スピード感ある巧みな書がしたためられる。

初の勅撰和歌集『古今和歌集』は、歌の規範として特に尊ばれ、
手本や贈答品として多数書写された。一方でこの冊子のように
テキストを正しく伝える目的で書かれたものもある。奥書によ
り、筆者やおおよその書写時期などがわかる点でも貴重。

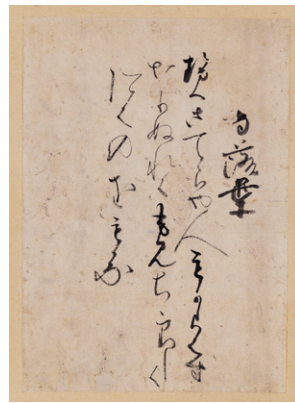


今城切 (古今和歌集 卷第二十断簡)

藤原教長筆

1 幅 彩箋墨書

日本・平安時代 12 世紀



落葉色紙

伝 西行筆

1 幅 紙本墨書

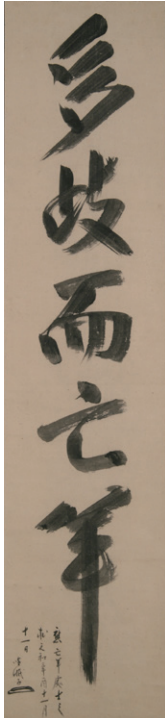
日本・鎌倉時代 13 世紀

装飾を施さない素紙または薄茶や藍の染紙を綴じた冊子本の
断簡。奥書の後半部の断簡と、全文を写した記録の発見により、
筆者が藤原教長(1109～80)と判明した稀な例。

後鳥羽上皇の熊野詣の折、那智社で催された歌会で書
かれた二首懐紙のうちの後半部分とされる。連綿が少
なく、一字一字を大ぶりに書いた様は、平安朝の優美
さから新たな書風への過渡期の作であることを感じさ
せる。

*本資料掲載の作品はすべて根津美術館所蔵品です。

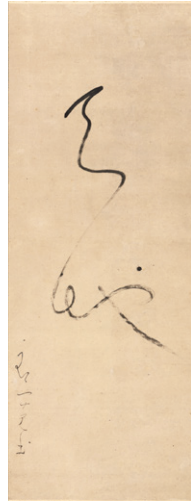
法語などを書きたいいわゆる禅僧の「一行書」だけでなく、さまざまな一行の書に託された意味や筆者の個性に注目していただきます。



いちぎょうしよ
一行書
ぎよくしつぞうはく
玉室宗伯筆

1 幅 紙本墨書
日本・江戸時代 元和7年（1621）

玉室は大徳寺の第147世で芳春院の開祖。儒者で茶人でもあった三宅ぼうようの依頼で、『列子』が出典の成語「多岐而亡羊」（えだみちおおくしてひつじをうしなう）を揮毫した。



てんち に だいに
天地二大字
りょうかん
良寛筆

1 幅 紙本墨書
日本・江戸時代 19世紀
秋山順一氏寄贈

「天地」の2文字を一筆で書いた、良寛の小字数の代表作。同じく当館所蔵の“大天地”に対して、小ぶりの本作は“小天地”とよばれている。

同時開催展

鏡は青銅器とともに古代中国を代表する金属工芸です。鏡にはさまざまな霊力が宿ると考えられ、背面の文様には当時の宇宙観や願いを見ることができます。



鏡の外形が天を、中央の正方形が地を表現し、その周りには四神や神仙が配されている。「天円地方」という当時の宇宙観をみごとにあらわした鏡。

ほうかく きく しんきょう
方格規矩四神鏡
1 面 青銅
中国・前漢時代 紀元前1世紀
村上英二氏寄贈

一年の最初の月、茶の湯ではめでたい道具を取り合わせ、新しい年の訪れを^{ことほ}寿ぎます。華やかな吉祥の茶道具約20件をご覧ください。



表千家6代の覚々斎（1678～1730、^{げんそう}原叟）が祝儀の贈り物として作った赤楽の茶碗である。白泥で大きく描かれた三峰の富士山がめでたい。

あからくふじ え ちゃわん
赤楽富士絵茶碗
かくかくさい
覚々斎作
1 口
日本・江戸時代 17～18世紀

関連プログラム

スライドレクチャー
(事前申込制)

担当学芸員が展覧会の見どころをスライドを用いて解説いたします。

「古筆切一わかちあう名筆の美」 講師 福島 洋子 (根津美術館 学芸員)

日時 2025年1月10日 [金]・1月24日 [金] 午前11:30～午後12:15 (開始15分前開場)

会場 根津美術館講堂

- ・レクチャー内容は、2回とも同じです。
- ・事前に当館ホームページから参加をお申込みください。先着順で定員になり次第締め切ります。
- ・参加は無料ですが、美術館入館料が必要です。

開催概要

展覧会名	企画展「 <small>こひつぎれ</small> 古筆切一わかちあう名筆の美」
	日時指定予約制 スムーズなご入館と快適な鑑賞のために、当館ホームページで日時指定入館券をご購入ください。(招待はがき等をお持ちで入館料無料の方もご予約ください。)
主催	根津美術館
開催期間	2024年12月21日 [土]～2025年2月9日 [日] ※12月27日 [金]～1月6日 [月] は年末年始休館。
開館時間	午前10時～午後5時 ※入館は午後4時30分まで。
休館日	毎週月曜日 ※ただし、1月13日 [月・祝] は開館し、翌1月14日 [火] 休館。
入館料	オンライン日時指定予約 一般 1300円(1100円) 学生 1000円(800円) ・()内は障害者手帳提示者及び同伴者1名の料金。中学生以下は無料。 ・当日券(一般1400円、学生1100円)も販売しております。 (ご予約の方を優先してご案内いたします。当日券の方はお待ちいただくことがあります。 混雑状況によっては当日券を販売しないことがあります。) ・2024年12月17日 [火] より当館ホームページで予約を受け付けます。 ・ご予約は1グループ10名までとさせていただきます。
アクセス	地下鉄銀座線・半蔵門線・千代田線〈表参道〉駅下車 A5 出口(階段)より徒歩8分、 B4 出口(階段とエスカレーター)より徒歩10分 B3 出口(エレベーターまたはエスカレーター)より徒歩10分
住所	〒107-0062 東京都港区南青山6-5-1
お問合せ	Tel. 03-3400-2536 (代表) website https://www.nezu-muse.or.jp
広報・取材のお問合せ	学芸部 広報課 所/村岡 Tel. 03-3400-2538 (直通) e-mail: press@nezu-muse.or.jp

当館の広報制作物に関して、郵送からメール配信への切り替えをご希望の方は、根津美術館 広報課へ
どうぞお知らせください。(press@nezu-muse.or.jp)

次回展 特別展「かたぎりせきしゅう片桐石州—江戸の武家の茶—」

2025年2月22日 [土]～3月30日 [日]

片桐石州(1605～73、貞昌、石見守)は江戸前期の大名茶人。江戸幕府の数寄屋坊主や各地の大名など、武家に広がりを見せた石州の茶を顕彰します。



左：茶杓 銘時鳥 共筒
片桐石州作 日本・江戸時代 17世紀
右：梅竹園広口釜 片桐石州旧蔵
日本・桃山時代 16世紀
いずれも根津美術館蔵

*本資料掲載の内容は、予告なく変更になる場合がございます。最新の情報は当館広報課へお問い合わせください。(2024.10.)